



2月28日 東地申第53号を提出！

「融合と連携の深度化と効率的な業務執行体制を目的に 乗務員による車内貫通を実施」に対する緊急申し入れ

2024年3月16日「ダイヤ改正」が行われます。2023年12月25日、地本は首都圏本部より「ダイヤ改正の提案」を受け【その他の項】において「融合と連携の深度化と効率的な業務執行体制を目的に乗務員による車内貫通を実施」が説明されました。

- ✓ 「京浜東北・根岸線の横浜支社管内と高崎線の籠原駅、高崎駅で予定」
 - ✓ 「対象は上野運輸区と大田運輸区」 ✓ 「作業方法や労働時間は調整中」
- ➔ **具体的な内容の説明はされず！**

上野運輸区の訓練では作業方法等が明らかに！しかし、大田運輸区の説明会では、



- **「詳細は分かりません。乗務員が車内貫通をやります」を繰り返す！**
乗務員からの質問に対しては、
- **「詳細が分かり次第お知らせする」としか答えられず！**

何も決まっていない中、実施ありきの会社説明によって職場は混乱しています。

私たちは常に「安全・安定輸送」を念頭に置き、日々乗務しています。そのような中で「車内貫通作業」という、乗務労働と業務の性質が違う取扱いを行うことで事故・事象へと結びつき「安全・安定輸送」が損なわれることを危惧します。

よって、地本は首都圏本部に対して以下の項目で申し入れを行いました。

1. 「2024年3月ダイヤ改正等について」の提案時に「融合と連携の深度化と効率的な業務執行体制を目的に乗務員による車内貫通を実施」も提案されたが、労働条件の変更であることから再提案を行うこと。
2. 「融合と連携の深度化と効率的な業務執行体制を目的に乗務員による車内貫通を実施」するに至った経緯を明らかにすること。
3. 車内貫通作業にあたり、具体的な作業を明らかにすること。
4. 車内貫通作業は乗務員勤務制度上の何にあたるのか明らかにすること。
5. 車内貫通作業という乗務労働と業務の性質が違うものを取り組むことで事故・事象へと結びつくため、車内貫通作業は一旦中止すること。

乗務労働に集中できる環境と安全・安定輸送のために

融合と連携の名のもとに行う「車内貫通作業」は一旦中止するべきだ！